

「全国高校即興型英語ディベート合宿・大会 2024」(文部科学省後援 主催：PDA 一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会) **初全国優勝!**

8月2・3日に行われたPDA 全国高校即興型英語ディベート合宿・大会 2024 に、北陵高校から3チーム(*北陵A、B、C)が参加しました。

*Aチーム 1年1人、2年2人、3年1人

Bチーム 1年3人、3年1人

Cチーム 1年1人、2年3人

全国から56チームが出場した今大会。「授業・課外初心の部」において、Aチームが優勝、Bチームが19位、Cチームが29位という結果を残しました。英語部設立から、毎年出場している本大会ですが、優勝は初めてのことです。

1日目の午前中は練習ラウンドが3回戦(うち1回は生徒がジャッジとして参加)、午後から2日目にかけて、予選ラウンドが3回戦と決勝が行われました。予選ラウンドの論題は「All doctors should be required to work in rural areas for a couple of years.(すべての医者に地方勤務を義務付けるべき)」「We should stop using English as the common language of science.(科学の共通語として英語を使うのをやめるべき)」「Power harassment should be severely punished.(パワハラは厳しく罰せられるべき)」でした。日ごろの練習を活かし、どのチームも活発に議論に参加することができました。

Aチームは予選にて3勝*153点という成績を収め、決勝に進出しました。決勝の論題は「Doping should be allowed in the Olympic Games.(オリンピックにおいて、ドーピングを認めるべきだ)」でした。愛知県大成高校と対戦し、見事勝利を収めることができました。

*一人ずつのスピーチの内容・表現に点数が与えられ、チーム合計が算出されます。

また、個人でも、「ベストディベーター賞」に2人。「POI賞」を2人が見事受賞し、表彰されました。



優勝が決まった記念写真



試合終了後に、握手を交わす様子